

マスクミ各位

令和6年10月11日（金）

沖縄県保健医療介護部感染症対策課 感染症予防班

担当：加藤、仁平

電話：098-866-2013

手足口病患者の流行状況について

～警報発令～

1 概要

現在、本県では手足口病の患者が増加しています。

感染症発生動向調査による手足口病の患者報告数は、令和6年第40週（9月30日～10月6日）に、定点あたりの報告数が6.25人（定点医療機関32カ所、報告数200人）となり、警報発令基準値の5.00人を超えましたので、警報を発令します。前回の警報発令は令和5年第16週（4月17～23日）、前々回は令和4年第20週（5月16～22日）であり、3年連続の流行となります。

2 手足口病とは 5類感染症 [定点把握]

病原体：コクサッキーウイルスA16、A10及びA6、エンテロウイルス71等

感染経路：咳、くしゃみによる飛沫感染、水疱・便に含まれるウイルスとの接触感染

潜伏期間：3～5日間。ウイルスは症状が治った後も数週間、便に排出されます。

症状：口の中や手足等に水疱性の発疹がみられます。発熱を伴う場合もあります。基本的に

軽症疾患ですが、まれに髄膜炎等の合併症を起こすことがあるので、注意が必要です。

予防：ワクチンはありません。手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することで予防できます。特に保育園や幼稚園などの乳幼児の集団生活施設では、注意が必要です。

3 手足口病の患者発生状況

手足口病患者情報は、感染症発生動向調査事業において県内の小児科32定点医療機関の協力を得て、患者情報を週単位で収集し、全国約3,000カ所の定点情報と併せて分析し、県民及び医療機関に情報を提供しています。

令和6年の直近の7週間（第34週～第40週）の患者数は537人で、年齢別では1歳が248人（46.2%）で最も多く、次いで2歳112人（20.9%）、6ヶ月以上12ヶ月未満85人

(15.8%)、3歳 33人 (6.1%)、4歳 14人 (2.6%) の順となっております。

ここ数週間は増加傾向にあり、第 40 週の保健所別定点あたり患者報告数は、宮古保健所が 11.50 人で最も多く、次いで中部保健所 7.50 人、八重山保健所 6.50 人、那覇市保健所 6.43 人、南部保健所 5.25 人、北部保健所 0.67 人の順となっております。

定点当たりの患者報告数（直近の 7 週間）

	週	34 週 8/19 ～8/25	35 週 8/26 ～9/1	36 週 9/2 ～9/8	37 週 9/9 ～9/15	38 週 9/16 ～9/22	39 週 9/23 ～9/29	40 週 9/30 ～10/6	計
県	患者数	39	35	41	62	72	88	200	537
	定点当	1.26	1.09	1.28	1.94	2.25	2.75	6.25	—
全国	患者数	13,236	17,872	22,485	25,143	24,298	25,493	27,084	155,611
	定点当	4.24	5.70	7.17	8.03	7.77	8.12	8.62	—

※感染症発生動向調査システム上の警報の発令基準値 流行警報：定点当たり 5 人以上

4 参考

- 沖縄県感染症情報センター「感染症発生動向調査 週報・月報 ～速報～」
 < 定点把握 19 疾患のグラフ・データ > に、手足口病の情報を掲載しています。
<https://www.pref.okinawa.lg.jp/iryokenko/shippeikansensho/1005861/1006484.html>
- 厚生労働省「手足口病に関する Q & A」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>
- 国立感染症研究所「手足口病とは」
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/441-hfmd.html>
- こども家庭庁「保育所における感染症対策ガイドライン（2018 年改訂版）（2023(令和 5)年 5 月一部改訂）」
https://www.zenshihoren.or.jp/uploads/topics_download/20230509093415.pdf
- 日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会「学校、幼稚園、認定こども園、保育所において予防すべき感染症の解説（2024 年 5 月改訂版）」
https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20240513_yobo_kansensho.pdf